三枚（ベニスで）

中尾進

石畳の細い路が迷路の様にこわうねと一つづく。この金線の街特有すボタこ赤の壁が両上〃の朝陽をあびて美しい。物めずらしさに、もう一二時間朝の散歩を楽しんでいる。勤めの人も未だちらほら。をあるくから十八、九程の少女が会いで近寄って来ると一言二言、右手を差出す。物乞いでポケットの五十リラを手の平にのせて、ついでにカメラを取出す。少女は心得て、にっこりしてポーズする、そ

して急いで駆戻った。今朝は朝がらついているのかも知れない。いつかフラーリーの前に出ていた。塔を見上ていると、こうばしいコーヒーの香りが空腹をおぼえた。フラーリー[illegible]隣りに在るサン・ロッコで[illegible]ントレットの大作に接して、息がつまって[illegible]感激したのは翌日のことでした。